



Vol.20 No.2

Dec.2009

Council 8 Japan Region

Newsletter

前向きに考え 行動しよう

Positive Thinking and Action

20周年記念会合を終えて

カウンスル 8 第20期会長 岩佐 圭子

No.8 各クラブ会員の皆様、20周年記念会合に積極的なご協力を頂き、ありがとうございました。お陰さまで、カウンスルNo.8初のお祝い行事は、10月27日(火)シーサイドホテル芝弥生会館に多くのお客様をお迎えし、無事に終了することができました。コーディネーターを始め、担当クラブ各役職の方々に改めてお礼申し上げます。



記念会合最大のヒットは、テーマの「交流」を具現化したプログラムでした。全クラブ参加の手作りプログラムは、他カウンスルでは余り例がないようで、バラエティに富んでいて楽しめたと好評、企画者の一人として嬉しく思いました。西村副会長の用意周到な準備と気配りに、カウンスルプログラム委員とクラブ出演者が賛同し、どのクラブの出し物も、紹介も、それぞれ個性豊かな仕上がりになりました。心配しましたプログラムの時間配分も、途中はともかく、最後の帳尻がピッタリだったようで、タイマーに吃驚されました。又、カウンスル会員数の減少と会場費の値上げで、櫻井会計には頭の痛い日々でしたが、藤原書記のお陰で美味しいケーキを出すことができました。プロ並みの腕前と手作りの温かさが好評で、厳しい財政事情が怪我の功名となりました。結局、今回の成功は、カウンスル会員全員が一致協力して、初めてのお祝い会合を盛り上げて下さったことにあります。もう一度、皆さま、ありがとうございました。

さて、祭りは終わりました。20周年記念会合で発揮されました皆さまの独創的なアイデアとパワーを、今度は通常のITC活動でお示し頂く時が参りました。前号でお知らせ致しましたように、カウンスル役員会は、PREM委員会と協力して、12月より4月末頃までに全クラブを訪問し、各クラブ会員と一層の交流を深め、将来の問題解決に前向きに対処したいと考えております。皆さまからも是非前向きな考えと行動を期待致します。

年間
テーマ

国際 : Coach for Success 成功へのコーチ

リージョン : 実践 知識を叡智に

Practice-Knowledge into Wisdom

おめでとう 20周年 カウンシルNo.8

カウンシル No.8 20 周年のお慶びによせて

2009-2011 国際特別任命役員 日本代表 泉 和子



青雲の志を抱いた若者がカウンシル No.1 の親元を離れ、確固たる信念を持って組織の向上を目ざして前進されてここに 20 年、今は 12 ものクラブを率いて見事な躍進を遂げ、立派な成人となられた貴カウンシルのお姿をまばゆく拝見いたしますと共に、ご在籍の会員の皆様
が 20 周年のお祝いの日をお迎えになられましたことに、心からのお慶びを申し上げます。おめでとうございます。

長き道程の中で、切磋琢磨し合って自己の向上を図られたご体験は、有効なリーダーシップの力となって皆様にさぞ役立っていることでしょう。友情も多く芽生えたことでしょう。組織とは、正しいコミュニケーションの糸を撚り合わせて人の人格を織り上げる場です。皆様の強いコミュニケーションの絆は、秋冷の今を彩る紅葉の朱にも負けない美しい価値ある財産となって会員方の身についていることでしょう。それを我が誇りとなさる会員のご様子を拝察し、心からの尊敬の念を抱きます。

「価値は多様ではなく、一つだから価値がある」といわれています。勉学を旨とする ITC の組織に身を置いて、お一人お一人のきらりと光る個々の価値を貴カウンシルに集約され、闊達なリーダーシップと正しいコミュニケーションの財産価値をより高く積み上げて、今後においてますますご発展の一途を辿られますように願ってやみません。

お祝いのことば

ITC 日本リージョン 第 28 期会長 岡崎 祥子

錦繡の候 カウンシル No.8 の皆様には 20 周年記念会合をお迎え
になられましたことを心よりお慶び申し上げます。

日本リージョンにとりましても誠にご同慶の至りでございます。

かつてのカウンシル分割により 1990 年に No.8 が誕生し、
爾来 20 年、会員の皆様にはその来し方、歩みの変遷に深い思い出
が刻まれていることとございましょう。今や 12 クラブを有する
大所帯のカウンシルへと発展なさいましたことは会員の皆様方
のお力の結集の賜と存じます。20 年という節目は、過去を振り返り
慈しみながらも、今後の進むべき方向性などをよく考察する好機と
存じます。

今後 No.8 が組織として益々充実されますよう、また会員お一人お一人の更なる向上がもたらされます
よう願うものでございます。



「人生の大目的は知識ではなく行動である」 ハックスリー

「交流」を掲げて

カウンスル副会長
西村 郷子



「ITC 歴十数年なのだけれど未だにお名前もどちらのクラブの方かも知らない人が多いの」と聞いて「えっ!」と驚きの声を上げた。私のようにすぐクラブ仲間の中に入りこんでしまおうとする不届き者と違って、いつも朗らかに皆さんと交流していると思われた人の言葉だったのだから。

20周年会合のコンセンサスは会員同士の“より一層の交流”かなと、その時ふと思った。カウンスル会合の目的が会員の研鑽の場であると同時に会員同士のコミュニケーションを図る場であることは間違い無いのだろうが、年2回の限られた会合時間の中では、他のクラブの方々と接するせっかくの機会をついつい見逃してしまう、次の機会に、また来年になどと先に延ばして。

さて、20周年記念会合をより活発な交流の場とするのにはどうしたらいいのだろうと、いろいろ様々に思いをめぐらしたが、考えているうちに、あれこれ方法を考えたり、こうしてくださいと指示などするのは僭越な事だということに気付き一人赤面した。会長が「今日は一日楽しく交流してください」と皆さんの背中をそっと押してくださればそれぞれの思いで、それぞれの方法で交流を楽しんでくださるに違いない。そしてその通りになったように思いました。そして、心のこもったプログラムの数々とそれを楽しもうとする気持ちが一緒になって醸し出す温かい雰囲気、その空気を共有するという交流があるのだと知りました。

“全員集合”を盛り上げてくださった“全員”の皆様心から御礼を申し上げます。

カウンスル 8 第20期 第1回会合

カウンスル 8 20周年記念会合は、前日の暴風雨が嘘のような秋晴れの10月27日(火) 国際任命役員 泉和子様、日本リージョン会長 岡崎祥子様始めリージョン役員7名、退会された元カウンスル会長4名他 全国からお客様をお迎えし、シーサイドホテル芝弥生会館で開かれました。

午前中のビジネスに続き、11階ビュッフェでのランチタイムはプログラムのテーマそのものの和やかな「交流」の場となり、歴代カウンスル会長のお披露目もありました。

そして、午後は各クラブのプログラム発表。趣向を凝らしたとっておきの舞台はバラエティに富み、地方色豊かな方言に会場がどっと笑いに包まれる一幕あり、その役者振りに目を見張る瞬間あり、会員の思い掛けない才能を垣間見、20周年を飾るのに相応しいひとときとなりました。

出席者総数 125名(内 ゲスト27名) (文責 編集)

20周年記念プログラム



橋爪プログラムリーダー

1. 早口言葉(東京セントラル)
2. 講談劇(アクア千葉)
3. 朗読(青山)
4. 寸劇(盛岡)
5. 議事法ビンゴ(東京・横浜)
6. スキット(柏・サンデー)
7. 川柳(彩玉)
8. 朗読劇(葦崎)
9. 雑学クイズ(東葛)
10. 斉唱(筑波)

カウンスルNo.8 全員集合

東京セントラル

Tongue Twisters with Rap Music



チャーター式以来の“全員参加”の晴れ舞台、感想を歌に詠むと・・・

- ・それ早い ラップ流して 汗ながす
 - ・やればなる ラップに合わせ 声合わせ
 - ・物言えば 唇まわる 秋の大会
 - ・声あわせ タングツイスト 頬赤し
 - ・ラップ音楽でリズムとり 体動いて 口動かない
 - ・See と She 違う音とは知りながら なおややこしき 早口言葉
 - ・智恵しぼり タグツイストやってはみたが 口は廻らず 老いを知る
セコンドします。もう一人の老会員
 - ・サッと出て 一番バッターの役果たし サッと引っ込み 胸なでおろす
- ・口の体操早口言葉 聴衆ものり はやばや過ぎゆき 以上、参加会員のつぶやきでした。 八尾和子 記

アクア千葉 講談劇 “手児奈伝説” 現代版

アイデアとユーモアにあふれる有志により台本が出来上がり、衣装、小道具と揃えたのですが、十分な練習が出来ませんでした。当日はどさまわりの役者みたいに大荷物で電車に乗り込み、食事の時間をけずって着替え本番を迎えたのです。

思ったより舞台が狭く動きが制限されたりしましたが、ともかく全員セリフをちゃんと覚えていて、堂々と演じ切ることができました。終って本当にホッとしました。このクラブの連帯感は凄いものだと思います。会員数が少なくてもまとまっていて、何事にも臨機応変に対処できる我がアクア千葉クラブは素晴らしい・・・と思いました。(自画自賛です！)



坂本幸子 記

青山

古典朗読 方丈記



青山クラブのテーマ「協力」を実践し 記念会合の趣旨「全員参加」にも沿ったよいプログラムだったと思う。派手さはなかったにせよ「方丈記」は静かに心に届いたのではないのでしょうか。方丈記の、限られた時間内への抜粋が苦勞であったこと。意味と内容の重要度も、分量とつながりなどを考えつつ

平均的にと。充分練習したとはいえなくても楽しんでくださったみたいで嬉しかった。少人数クラブのメリットが発揮できた例かも。クラブのプログラム紹介に終始して、真面目で、硬くて、異質であったけれど、カウンスルの意図としてそれでよいならば。あと2, 3人読み手があればもっとよかったかも。方丈記では街や建物の壊滅が無常をいざなうとするがそれでも再生されていくことに人間のたくましさを感じる。青山クラブは今後も古典朗読を継続できる限り頑張ります。

高尾浩江 記



カウンスルNo.8 全員集合

南部盛岡店

盛岡
オリジナル寸劇
注文の多い料理店



郷土岩手県の生んだ偉大な文学者、宮澤賢治の童話「注文の多い料理店」を寸劇で演じようと思い立ち、ドタバタの末この劇を仕上げました。 大変だったのは、

何ととっても盛岡弁でがんです…。 まんず、だってもわがらねのす。 だ～れ盛岡生まれの会長だったって、

『盛岡弁なんてよくわがらねなはん…。 やっぱ専門家に翻訳してもらわねば、わがねんちゃ』ってえ大騒ぎでがんです。というわけで、老舗蕎麦屋の「生粋盛岡人(井上孝子さん 70歳弱)」に翻訳して頂きました。

脚本を実質手がけた佐々木恵子さん、衣装と大道具小道具を見事に作った小川さん、役がぴったりハマっていた白澤さん、当日参加なのに見事こなした大澤さん、さすが能力溢れる会員ばかりと改めて感涙にむせびました。。 どんどはれ。

平野ユキ子 記



東京 & 横浜

クイズ：議事法 de ビンゴ

議事法クイズをビンゴ仕様で行うには 議事法に減法強いこと ビンゴの発生確率を計算することの二つのハードルがありました。当クラブはこれをクリアし、加えて、少人数の横浜クラブがジョイント案を快諾、幸先のよいスタートとなりました。準備委員会は、提案者、議事法通を中心に会長や横浜クラブからの参加者ら8名で構成し、各自がお薦めの議事法問題を持ち寄りました。その中でどの問題を採用するかは例外が無く Yes, No で答えられる 典拠が明確である ITC に適用する 短く、耳で聞いて分かり易いことを基準にしました。ビンゴなるもの、到達者が出なくては困るが、出過ぎても困るという厄介者の上、今回は、それを14分で行うべしという過酷な作業でしたから、柴田さんが最速でビンゴになった時はホッとしました。彼女の議事法力も然ることながら、番号があんなに良い具合にヒットしたなんて、この日は、宝くじを買われてもきっと当たったと思います。

今回の寄稿に際し、東京・横浜両会員に感想を求めたところ、大方の人が敬遠しがちな議事法に目を向けさせた点を評価、準備も周到でITCここにありという気がした、又、



クラブ紹介はユニークでアイデアが光ったと準備委員会を労ってくれました。

印ではなく、×でリーチができそうと大笑いしたテーブルもあったとか、最後が大盤振る舞いで賞品が足りるか心配だったとの声も。×があっても復活できるボーナス問題導入が、観衆の期待を繋いでいたようだった。

(準備委員会)



カウンスルNo.8 全員集合



柏&サンデー スキット： ITC 誕生 “アーネスティン・ホワイトとその仲間たち”

サンデー・柏合作ミュージカルの出演者募集(?)は7月に始まった。英語版の台本の翻訳、音楽の選曲、台詞のチェックと、メールが飛び交い、9月、いよいよ合同練習。台詞を忘れてたり、言うのが早かったり、笑いの中にも真剣で高校生(?)の部活動さながらの熱気。

2回の合同練習後、リハーサル代わりに柏クラブの例会で披露、まずまずの評判に意を強くして最終練習へ、そして1週間後、カウンスル会合の舞台へ。練習ではとちっていた台詞も本番ではスラスラ。

なんて本番に強い私達！フィナーレは Oh, what a beautiful morning! を全員で合唱。

心が一つになり、まさに交流を楽しんだ。サンデーの宮田さんと安福さんに心より感謝。 **土井牧代 記**

ITC 誕生劇

「えっ、ミュージカルを？合同チームで？」・・・と最初は無理と思われたこの企画も翻訳 台本作り 配役決めと歩み始め4回の合同練習を通じ見事に変貌していった。練習のたびに発見する問題は全て討議・改善し劇の質は向上、団員のスピリットは高揚していく。スムーズな場面展開、明瞭な言葉、感動的な歌、心が一つの本舞台だった。アーネスティン・ホワイトの旗の下、練習毎に連帯を強めたニクラブ合同劇団は11/6解散式。70余年の時空の彼方へ「アーネスティン、素敵な思い出をありがとう。」と感謝しつつ。(原作 Liz Richardson、2008 International Training Weekend サンフランシスコにて初演) **宮田誠一 記**



彩玉

彩り川柳



7/8 委員会で委員長永井眞澄 リーダー増井美恵子、その他6名以上参加、出し物はフロアを巻き込むクイズ形式の彩り川柳と決まった。

7/23 川柳の内容を持ち寄り、選定し、習字で条幅紙に書き、3人1組で条幅紙を持ち上げ、リーダーが発表すると決定。又発表する句とクイズ用に分け、1分間スピーチ、服装、備品、動きについても検討した。

10/5 川柳を持って動きを練習し、7分というタイムに仕上げた。

10/21 例会で「今日の話」として取り上げ、リハーサルをした。

どんな川柳が笑ってもらえるのか何度も作り変えた。

当日は観客が多かったため、思いの外、笑っていただけ、又クイズも積極的に参加してくださったお陰で無事終えることが出来て大変喜んでおります。

増井美恵子 記

カウンスルNo.8 全員集合

記念会合の演目は前期の朗読でやった甲州弁桃太郎にすんなり決定。人数が少ないので、ダブルキャストでいどみました。練習は、役員会のとき全員集合し読み合わせをしました。10月例会には、クラブ誕生にご尽力頂いたケイコ・ウイタカさんや元会員等3名のゲストの前で披露し、助言をして貰いました。

本番はもう少し間を取ってやれたらよかったですと思います。魅力ある“きびだんご”に新会員が集まってくればいいじゃんねえ。

烏谷まゆみ 記

荻崎

甲州弁朗読劇 “桃太郎”



東葛

カウンスル 8 雑学クイズ



“交流”のコンセプトに合わせ、事前に全クラブの会長にアンケートを行い、クイズは会場全体を巻き込む形式にしました。難しかったのは「流れが読みにくい」ということ。クイズの進め方をすんなり理解して

もらいスムーズに進められるか。正解者が多すぎたり少なすぎたら・・・。当日のハプニングは、クイズの正解が事前に他クラブのプログラムで紹介されてしまったことです（スピコン優勝者の数）。ともあれ、城戸会長の学ラン姿で会場を惹きつけ、そのままの勢いで押し切りました。今回の経験を生かして、30周年記念イベントではさらに強烈なパフォーマンスをお見せしたいと、会員一同張り切っております。

石川恵悟 記



筑波

日英仏蘭 4ヶ国語で

Let's sing!

20周年記念会合で筑波クラブは、日、英、仏、蘭の四カ国語で「小さな世界」を歌いました。初回練習は参加者が三名の低調さ。子供が歌うと可愛いこの曲は大人の声では全然可愛くないので子供の声に近付けて歌うのですがこれが苦しい。楽譜と歌詞を手に入れるのも一苦労。特にオラ

ンダ語はそれがオランダ語かどうか解らず、やっと見つけた歌詞はアラビア語でした。でも、メンバーの協力で楽譜がそろい、歌詞がそろい皆の気もちも高まって本番になりました。

イギリス人のアンと妹さんご夫婦、フランス人のミリアムも参加して下さって無事に終わることができました。会場の暖かい応援に心より感謝申し上げます。

松岡美保 記



記念会合会場で聞く

記者：お食事はいかがでしたか。

Aさん：とても美味しく頂いています。特にカレーはね。ありがとうございます。

自分でも作るんですけど、このくらい辛く。二回目と思ったら全部カラでした。

(注：カレーはとても人気がありました。他にもたくさんの方が美味しいと言っていました)

Bさん：ほどほどの量で、あまり余っても気になるし、それほど多くもないし、ちょうど良かったと思います。

Cさん：充分頂いていたのに、お蕎麦とフルーツが出てきたら、別腹みたいにお腹に入っちゃいました。

記者：立食形式はいかがですか。

Dさん：いいんじゃないですか。たまには。(注：いつもだと困る？と突っ込むと「そうですね」と返事)

Eさん：懐かしい方と食事しながら旧交を温めたり、新しい友達が4～5人も出来ました。

記者：今日のプログラムについてどう思われましたか。

Fさん：素晴らしかった。各クラブの夫々の表情ってのが、普段窺えないところがありましたので、ホントにあの私、嬉しく感動しながら見させていただきました。

Gさん：大変面白かった。あの、皆さんそれぞれ工夫を凝らしておられてね。あの、その独創性というのが感心しました。それに、順番が良く考えられていて、退屈せずに楽しめました。

Hさん：クラブ毎の違いがよく出て、それと人数の少ないクラブも多いクラブもとっても活発に企画して出演されたので、素晴らしいことだと思います。

Iさん：あの～、各クラブいろいろね、一つとして同じのがなくて、もう本当に、えーとね、特色があるんだなと思いましたね。楽しかったで～す。

(注：皆があまりにも褒めるので、ついITC魂がむくむく。次のような会話になってしまいました)

記者：何か改善点とか、何か不満とか何かない？100パーセント良かった？

Jさん：不満ね～。不満は無い。

記者：こうしたらいいーとかは？

Jさん：あの～、ピュッフェのオ ケーキが無かったことくらい。あっははは。それくらいです。

記者：あっははははは。私も蕎麦よりケーキが良かった。

(注：このケーキ待望論に応えるかのように、

閉会後のティータイムに、藤原カウンスル書記 手作りのパウンドケーキが登場！ ホッ。)

お知らせ

11月30日

カウンスル運営研修会が無事終了

4月4日

第2回カウンスル会合(於 ホテルフロラシオン青山)

5月中旬

第3回ニューズレター発行

編集後記

記念会合が無事終わってお疲れの中、執筆にご協力いただきましてありがとうございました。

ベルリンの壁崩壊から20年、天皇即位から20年、誕生から20年カウンスル 8の歴史は、冷戦終結後の世界、平成の歩みと過不足なく重なるとの思いを新たにしました。

記念会合では、各クラブ思い思いの舞台に魅せられた2時間余でした。今回は、そのプログラムの裏にある苦労話、感動秘話を語っていただきました。あの日が、われわれの中で、共通の思い出となり、仲間との絆を一層深めますように。(R.M)